中 国 語 学 科 履 修 案 内

（2007から2009年度入学者に適用）

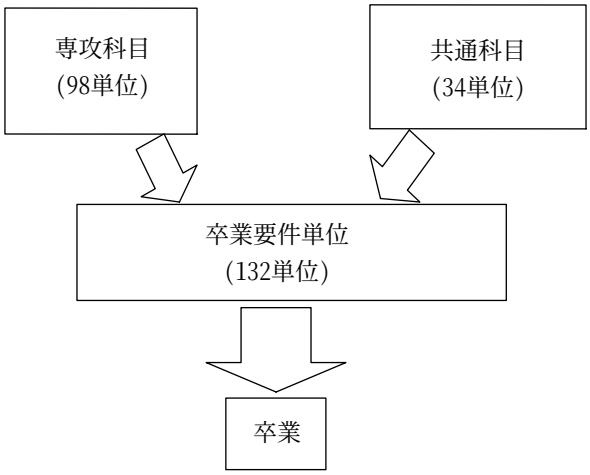
【中国語学科の教育目標】

中国語学科は，高度な中国語運用能力を身につけるとともに，中国の社会・文化についても深く専門的に学び，修得したそれらの能力・知識によって，日中間の経済・文化交流の場で活躍し得る有為な人材を育成することを教育目標としています。

【カリキュラムの概要と特色】

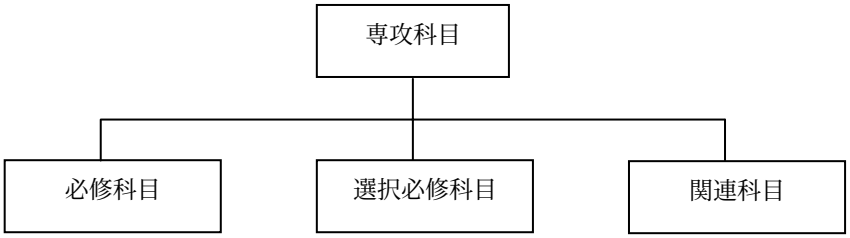
これから中国語学科のカリキュラムについて全体像と特徴を説明します。この履修案内を参考に「中国語学科教育課程表」に基づいて，履修計画を立て，履修登録を進めましょう。

中国語学科の卒業生として認定されるためには，「専攻科目(98単位)」と「共通科目(34単位)」の合計132単位を修得しなければなりません。カリキュラムの枠組みおよび科目の種類について理解し，効率的かつバランスよく４年間の履修計画を立てましょう。



専攻科目

専攻科目は中国語学科向けに開講されている「必修科目」と「選択必修科目」があります。このほか自分の専攻分野や興味・関心に応じて自由に選択できる「関連科目」があります(関連科目の具体的な説明は後述します)。



①必修科目と選択必修科目

必修科目とは卒業するために絶対に修得しなければならない特定の科目です。選択必修科目とは複数の科目群の中から各自の興味・関心に応じて自由に選択できる科目で，Ａ群，Ｂ群，Ｃ群の三種類があります。ただし，それぞれの群で一定の単位数を修得することが求められます。

必修科目と選択必修科目は授業形態によって，「語学演習形式科目」，「講義形式科目」，「ゼミナール形式科目」の三種類に大別されます。「語学演習形式科目」はトレーニングによって語学力を身に付けるための科目で，必修の中国語演習科目や選択必修の表現法演習科目などがあります。「講義形式科目」には講義形式によって専門的な知識を始め広く，次第に深く学ぶための概説科目と特講科目や総合講座があります。この双方の学習を踏まえて，語学力と専門知識を総合的に鍛える科目として「ゼミナール形式科目」の中国学演習と中国学卒論演習があります。

	語学演習形式科目	講義形式科目	ゼミナール形式科目
必修科目	・１～３年次までの共通中国語演習科目 ・インテンシブコース必修科目	・総合講座	・３年次 中国学演習 ・４年次 中国学卒論演習
選択必修科目	・２年次 表現法演習科目(Ａ群) ・３，４年次 表現法演習科目(Ｃ群) 講読演習科目　(Ｃ群)	・１，２年次 概説科目(Ａ群) ・３，４年次 特講科目(Ｂ群)	

[コース制]

中国語学科のカリキュラムは履修者が初めて中国語を学ぶという前提で組まれており，１年次は全員等しく必修の中国語演習科目を履修します。２年次からは学生個々の能力と特性に応じ，「スタンダードコース」と「インテンシブコース」に分かれます。それぞれのコースの特徴は次のとおりです。

１年次終了

スタンダードコース：
標準的な中国語運用能力を身につけると同時に，中国の文化・歴史・社会などについての広くかつ深い知識を身につけることを主眼に置いている。

インテンシブコース：
意欲的に中国語を学び，高度な中国語運用能力を身につけることを目的とする。

この２年次からのコース制の導入により，学科全員が卒業までに共通で履修する科目のほかに進んだコースによって履修が義務づけられる科目が増えたり要求される単位数が変わったりします。

<table>
<tr><th colspan="7">専攻科目の必要修得単位数98単位</th></tr>
<tr><td rowspan="2">学科共通必修科目</td><td rowspan="2">・１～３年次中国語演習科目(18単位)
・総合講座(６単位)
・中国学演習
(４単位)
・中国学卒論演習
(８単位)
計36単位</td><td>スタンダードコース</td><td>選択必修科目Ｂ群</td><td>選択必修科目Ｃ群
(計16単位)</td><td>選択必修科目Ａ群
(16単位)</td><td colspan="2">関連科目
(30単位)</td></tr>
<tr><td>インテンシブコース</td><td>選択必修科目Ｂ群</td><td>選択必修科目Ｃ群
(計16単位)</td><td>選択必修科目Ａ群
(12単位)</td><td>インテンシブコース必修中国語演習科目
(12単位)</td><td>関連科目
(22単位)</td></tr>
</table>

いずれのコースに進むにせよ，共通で修得が義務づけられる科目を「学科共通必修科目」と呼び合計36単位あります。１年次から３年次までの必修中国語演習科目のほか，１・２年次の総合講座および３・４年次のいわゆるゼミナールに相当する中国学演習と中国学卒論演習があります。また，選択必修科目のＢ群とＣ群はいずれのコースに進んでも併せて16単位を修得しなければなりません。

「スタンダードコース」に進んだ者は，選択必修科目Ａ群を16単位，関連科目を30単位修得しなければなりません。「インテンシブコース」履修者と比較するとこれらの科目は併せて12単位多く修得しなければなりません。

「インテンシブコース」に進んだ者は「インテンシブコース必修科目」として，２年次から４年次にかけて合計12単位の中国語の演習科目を必修科目として修得しなければなりません。ただし，選択必修科目Ａ群は12単位，関連科目は22単位と「スタンダードコース」履修者に比べ求められる修得単位数は12単位少なくなっています。

②関連科目

専攻分野に関連して，更に幅広く，時により深く，また体系的に知識を身に付けていくために，学生諸君の関心に併せて，卒業単位を超えて履修した教養系科目と中国語学科の選択必修科目(Ａ群・Ｂ群・Ｃ群)，他学部他学科開講の専攻科目，外国語科目などから自由に選択できるのが関連科目です。

共通科目

「共通科目」は『履修要覧』の「卒業要件」の表と各科目群の履修案内を参照して下さい。ここではそれぞれの科目の履修要件について大まかに説明します。

上で説明した「専攻科目」とは別に卒業までに「共通科目」を34単位修得しなければなりません。「共通科目」には「ＦＹＳ」,「教養系科目」,「外国語科目」があります。

共通科目（34単位)		
FYS(ファースト・イヤー・セミナー (2単位)	教養系科目 (1)人文の分野 (2)社会の分野 (3)自然の分野 で各４単位(計12単位) (4)健康科学の分野 を含めた４分野で更に10単位 (計22単位)	外国語科目（英語) １年次（４単位) ２年次（４単位) ３年次（２単位) (計10単位)

③FYS(ファースト・イヤー・セミナー)

大学生として身につけるべき，学習・生活上の基本的知識を学習します。本学に入学した新入生全員に履修が義務づけられており，１年次の前期に履修します。

④教養系科目

教養系科目は(1)人文の分野，(2)社会の分野，(3)自然の分野，(4)健康科学の分野の四分野に分かれています。このうち(1)～(3)の各分野で４単位づつ，計12単位修得した上で，さらに四分野の中から10単位を修得し，教養系科目全体で22単位修得しなければなりません。必修科目および選択必修科目は教養系科目とリンクしながら履修することによって，専門知識を効率的に身に付け，ひいては語学力向上の土台を造り上げることができます。従って，教養系科目を重視し，必修科目および選択必修科目とのバランスをとりながら履修していくことが望まれます。

⑤外国語科目

１年次～３年次にかけて合計10単位を修得しなければなりません。国際化した社会においては，話し手の最も多い中国語と，広く国際語として使用されている英語は，最も社会的需要の大きい言語です。そこで，専門の言語である中国語の他に，必ず英語を履修することとし，国際社会のあらゆる場面で活躍できる人材の育成を目指しています。

【専攻科目の履修要領】

①中国語演習（共通必修：18単位；インテンシブ必修：30単位)

１年次から３年次まで系統的に共通必修の中国語を学びます。１年次と２年次でそれぞれ８単位（計16単位)，３年次で２単位が必修です。２年次終了時では，会話力と専門文献の読解能力を基本的に身に付けていることが求められます。３・４年次では必修科目は減少しますが，後述の選択必修科目(表現法演習，講読演習)などを活用すれば，語学力をレベルアップしていくことが可能です。インテンシブコースでは共通必修となる中国語演習科目のほ

か，２年次で４単位，３年次で６単位，４年次で２単位の計12単位が必修であり，高度な中国語運用能力の獲得を目指します。

②選択必修科目Ａ群（インテンシブ：12単位以上；スタンダード：16単位以上)

Ａ群は中国の政治，経済，社会，文化に関する講義科目として，１・２年次対象の概説科目が用意されています。中国に関して幅広く厚みのある知識を身に付けるために，直接関心のあるテーマだけでなく，卒業要件単位数を超えて履修することが望まれます。また，トレーニングによって語学力を向上させるための演習科目として，２年次対象に中国語表現法演習Ⅱを配置しているので，意欲のあるものは選択履修することができます。

③選択必修科目Ｂ群(各コース，下のＣ群を含め16単位以上)

Ｂ群は中国の政治，経済，社会，文化に関する講義科目として，３・４年次対象の特講科目が用意されています。特講科目とは，１・２年次を対象として展開される概説科目より深く専門知識を学ぶための科目です。概説科目と同様，直接関心のあるテーマだけでなく，卒業要件単位数を超えて履修することが望まれます。

④選択必修科目Ｃ群(各コース，上のＢ群を含め16単位以上)

Ｃ群は表現法演習と講読演習の二種類があり，３・４年次を対象に開講されます。表現法演習は，インターネット，テレビ，ラジオ，新聞など様々なメディアを利用し，少人数のトレーニングを通して，中国語を表現する能力を身に付けます。一方，講読演習では新聞や雑誌の記事や論文なども含め，様々な形式の文章の読解訓練を通して，中国語を日本語に正確に翻訳する能力，長文の大意を短時間で把握する能力を身に付けます。この二つの力―表現する力と理解する力が身に付いてこそ，はじめてコミュニケーション能力があると言えるので，二種類をバランスよく履修することが必要です。なお，２年次対象に開講される二つの表現法演習科目はＡ群に属し，３・４年次対象に開講される表現法演習・講読演習科目はＣ群に属することに注意が必要です。

⑤中国学演習（必修，４単位）

いわゆるゼミナールに相当する３年次対象の必修科目で，文献輪読やディスカッション，調査を通して，専門分野について高度な知識を修得することを目指します。同時に，図書館やインターネットを利用した文献検索の方法，現地調査やインタビューの方法，書物や論文のまとめ方，ゼミでの報告と討論の方法，ハンドアウトやレポートの書き方など，社会で必要とされる技術を修得します。なお，学科以外で開講されるゼミナールを同時に履修することが可能です。

⑥中国学卒論演習（必修，８単位)

卒論演習は，原則として，３年次の中国学演習がそのまま持ち上がるものとし，ゼミナール，論文(20,000字程度以上)，口述試験をその内容とします。

⑦語学研修

本学主催の派遣語学研修に参加し，所定の時間学習した場合，選択必修Ｃ群の演習科目２科目に相当するものとして２単位を認定します。

【進級要件】（２年次から３年次）

①２年次終了までに次の②，③の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち，60単位以上修得しなくてはならない。

②外国語科目（英語）４単位以上。

③「スタンダードコース」は１・２年次共通必修科目のうち中国語演習12単位以上。
「インテンシブコース」は１・２年次共通必修科目およびコース必修科目のうち中国語演習16単位以上。